

# 蜂蜜、そば粉の新名物

## 東京のNPO提供 県内2団体販売へ

東京・銀座で蜂蜜の生産などに取り組むNPO法人銀座ミツバチプロジェクト（東京都）の蜂蜜やそば粉を使った、福島市の新たな名物が誕生する。同NPOから提供を受け、福々と本舗（福島市）と土湯温泉観光協会（同市）が現在、新



贈呈式に出席した（左から）加藤会長、田中理事、長、佐久間社長、林会長

商品やメニューの販売に向けた準備を進めている。同NPOは、銀座で蜂蜜の生産を行う一方、福島市荒井の荒井ビアガーデン発電所で太陽光パネル下の畑を活用、ソバの生産にも取り組んでいる。そば粉は等級検査で1等級の格付けを受けるなど品質も良く、福島にちなんだメニューの開発に役立ててもらおうと蜂蜜とともに材料提供を申し出た。福々と本舗は作曲家古関裕而の楽曲にちなんだ菓子「福島夜曲（せれなあで）」の新バージョンを発売する予定で、同協会は企業などとともにオープン予定の飲食店のメニュー「そば粉のカレット」の開発に役立てるといふ。

久間功社長が「お菓子にそば粉を使うのは初めて。朝ドラ『エール』の放送に間に合わせたい」と同協会の加藤貴之会長は「夏のオープンを予定している。そば粉と蜂蜜の良さをうまく出したい」と語った。同NPOの田中淳夫理事長は「銀座でも売れる名産になれば」と期待を込めた。橋渡しした福島ふるさと体験交流会の林克重会長も同席した。

### 商品開発へ精進

#### 6次化創業塾卒業式

県産農林水産物を活用した付加価値の高い商品開発



やマーケティングなどを学ぶ県の「ふくしま6次化創業塾」の卒業式は12日、福島市で行われた。本年度は創業コース22人、創業支援スタッフコース23人が受講。先進地視察などを通じて農林水産物の生産、加工、販売を一貫して手掛ける6次化のポイン

トなどを教わった。式では鈴木秀明県食産業振興監が、神奈川県茅ヶ崎市と福島市で二地域居住をしている塾生代表の高橋菜里さんに卒業証書を手渡しした。高橋さんは「農林水産業や地域の活力となるよう精進したい」と決意を述べた。写真。

### 商品BOX

#### 「夢の香」使用 爽やかな香り

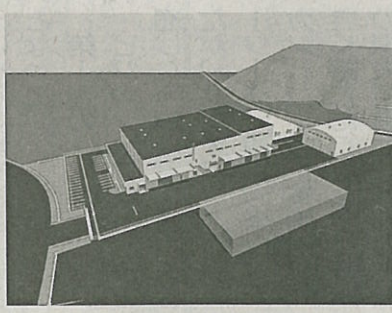
福島県南酒販は12日、同社若手社員6人が豊国酒造（古殿町）の協力を得て醸造した純米無濾過生原酒「東tabane」を発売した。県産の「夢の香」を原料米に使用し、爽やかで心地よい香り、バランスの取れた甘み



協定書を交わした清水市長（左）と平塚社長（中央）、立ち会った鈴木局長



ニッチューいわき工場のイメージ図



取り交わした。同社は航空機械や自動車などに使用する部品の表面処理加工や加工機械製造などが主力。同団地に整備するいわき工場では、表面加工に使用する機器「プラスト機械」で噴射する研削材

主力工場の一つに位置付けており、敷地面積は約1万400平方メートル、延べ床面積は約4300平方メートル。本社機能の一部として研究開発部門も設置する。来月に着工し、来年1月に操業予定。初年度は同市から正規社員7人を雇用しており、将来的には50人程度の雇用

五輪協賛ジャンボ 幸福の女神がPR 第40期宝くじ幸運の女神の近藤綾さん(25)は12日、販売中の「東京2020協賛ジャンボ」のPRのため福島民友新聞社を訪れた。写真。

